

## 楽天証券、対象銘柄を業界最多に拡充！ 99銘柄の国内ETF取引手数料を完全無料化

- 13銘柄を追加。さらに米国ETF 9銘柄の買付手数料を無料に -

楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都世田谷区、以下「楽天証券」）は、2020年1月14日（火）約定分より、国内上場投資信託（以下「ETF」）において、取引手数料無料でお取引いただける「手数料0円ETF」の対象銘柄、86銘柄を拡充し、業界最多<sup>\*1</sup>の99銘柄<sup>\*2</sup>の取引手数料を完全無料にすることをお知らせします。また、2020年1月6日（月）現地約定分より、米国ETF 9銘柄についても、買付手数料を完全無料にすることをあわせてお知らせします。

楽天証券は、お客様の資産形成の一助となるべく、取引手数料を気にせずお取引いただける商品・サービスの拡充に努めています。特に、上場株式などにおいては、ETFの普及のため、NISA口座での国内ETF取引手数料無料化・海外ETF買付手数料全額キャッシュバックなどの積極的な取り組みを行うほか、特定・一般・NISAすべての口座において、個人投資家に人気の「楽天ETF」シリーズをはじめとした86銘柄の取引手数料を無料にする、「手数料0円ETF」プログラムを開始し、多くのお客様からご好評をいただいています。

さらに、12月16日（月）からは、信用取引において、東京証券取引所等に上場するすべてのETFなど約330銘柄を対象に取引手数料を無料にすることを発表しております。<sup>\*3</sup>このたび、さらに「手数料0円ETF」の対象銘柄を拡充することで、現物取引においても、手数料コース<sup>\*4</sup>にかかわらず、業界最多の99銘柄を取引手数料無料でお取引いただけるようになります。また、中長期での資産運用を目的として活用されることが多い米国ETFにおいては、人気の9銘柄の買付手数料が完全無料になります。

今回の改定により、これまで以上に低コストでのETF投資が可能となり、さらなるETFの普及と資産形成層を含めたより多くの方に楽天証券をご活用いただけるようになると期待しています。

楽天証券は、お客様の資産形成・投資活動の一助となるべく、取引手数料の見直しを行うとともに、「楽天スーパーポイント」<sup>※5</sup>などで国内株式や投資信託が購入できる「ポイント投資」サービスをはじめとした楽天グループの強みを活かしたサービスの拡充などに尽力しています。今後も、楽天証券は、トレーディングサービスとアセットベースのサービスの拡充を進め、より一層の収益源の多様化とお客様の満足度向上に努めてまいります。

#### ■2020年1月14日以降、国内外ETFの手数料無料対象銘柄 他社比較表

	楽天証券	auカブコム証券	SBI証券	松井証券	マネックス証券
国内ETF (現物取引)	99	90	97	0	3
国内ETF (信用取引)	約330	約330	約330	0	約330
米国ETF ※買付手数料	9	0	9	0	9

注：SBI証券、マネックス証券はキャッシュバック

注：詳細は楽天証券および各社ホームページにてご確認ください。

#### ■「手数料0円ETF」対象 国内ETFシリーズ：99本

個人投資家に人気の「楽天ETFー日経レバレッジ指数連動型」・「楽天ETFー日経ダブルインバース指数連動型」(楽天投信投資顧問株式会社運用)や、「iシェアーズ®ETF 東証上場シリーズ」(ブラックロック・ジャパン株式会社運用)、「MAXIS シリーズ ETF」(三菱UFJ国際投信株式会社運用)、「NEXT FUNDS」<sup>※6</sup>(野村アセットマネジメント運用)、86銘柄に加えて、新たに以下13銘柄が完全無料化の対象となります。

- ・1305 ダイワ上場投信ートピックス
- ・1306 TOPIX連動型上場投資信託
- ・1308 上場インデックスファンドTOPIX
- ・1320 ダイワ上場投信ー日経225
- ・1326 SPDRゴールド・シェア
- ・1349 ABF汎アジア債券インデックス・ファンド
- ・1540 純金上場信託(現物国内保管型)
- ・1541 純プラチナ上場信託(現物国内保管型)
- ・1542 純銀上場信託(現物国内保管型)
- ・1543 純パラジウム上場信託(現物国内保管型)
- ・1547 上場インデックスファンド米国株式(S&P500)

- ・1557 SPDR S&P 500 ETF
- ・1671 WTI原油価格連動型上場投信

■「手数料0円ETF」対象 米国ETFシリーズ : **9本**

- ・バンガード・トータル・ワールド・ストックETF (VT)
- ・バンガード・S&P 500ETF (VOO)
- ・バンガード・トータル・ストック・マーケットETF (VTI)
- ・SPDR S&P 500ETF (SPY)
- ・SPDR ダウ・ジョーンズ REITETF (RWR)
- ・SPDR ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト (GLDM)
- ・GS Motif データイノベーションETF (GDAT)
- ・GS Motif ヘルスケアイノベーションETF (GDNA)
- ・GS Motif 金融イノベーションETF (GFIN)

■ご参考：楽天証券、国内株式および投資信託にかかる手数料無料および改定の内容

商品サービス	内容
現物取引 (国内ETF)	2020年1月14日(火)約定分より、13銘柄追加！ 業界最多99銘柄の取引手数料が無料
現物取引 (米国ETF)	2020年1月6日(月)現地約定分より 9銘柄の買付手数料が無料
現物取引・信用取引	12月23日(月)約定分より 「いちにち定額コース」での取引において、1日の取引金額合計50万円までの取引手数料が無料
信用取引	12月16日(月)約定分より、約240銘柄を追加！ 約330銘柄(ETF・REITなど)の取引手数料が無料
一般信用取引 「いちにち信用」	12月23日(月)約定分より 買方金利・貸株料を業界最低水準の1.80%(年率)に引き下げ 100万円以上は0% 取引手数料および現引・現渡手数料は無料
投資信託	12月16日(月)より、1,275本追加！ ブルベアファンド含む全取扱商品、2,637銘柄の買付手数料が無料

注：各銘柄数は、2019年12月12日(木)時点。投資信託の本数は、12月3日(火)時点

注：楽天証券の金融商品仲介業者(IFA)を通じてお取引いただいているお客様は、手数料体系などが異なる場合があります。詳細はIFA担当者へご確認ください。

- ※1：主要ネット証券（口座数上位5社：auカブコム証券、SBI証券、松井証券、マネックス証券、楽天証券（五十音順））で比較（2019年12月12日現在、楽天証券調べ）
- ※2：2019年12月12日現在。対象銘柄は適宜見直しを行い、入れ替える可能性があります。
- ※3：2019年12月4日付プレスリリース「[楽天証券、信用取引（ETF・REITなど）の手数料を完全無料化!](#)」
- ※4：カスタマーサービスのオペレーター取り次ぎによるお取引の手数料は、適用外となります。また、楽天証券の金融商品仲介業（IFA）を通じてお取引いただいているお客様は、手数料体系が異なります。詳細はIFA担当者へご確認ください。
- ※5：「期間限定ポイント」や他ポイントから交換したポイントは対象外。「楽天証券ポイント」は国内株式の「ポイント投資」の対象外
- ※6：2019年12月12日現在、「NEXT FUNDS」シリーズ59本のうち、レバレッジ・インバース、日経225およびTOPIX連動型の8本を除く、51本

以上

#### 【手数料等およびリスクの説明について】

楽天証券の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページに記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社（[楽天証券ホームページ](#)）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会